

目 次

I. 総括研究報告	
ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究-----	1
研究代表者 松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)	
II. 分担研究報告	
1. 治療プログラムの効果検証 -----	45
松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)	
2. 精神保健福祉センターにおける回復プログラムの効果検証 -----	87
白川 教人 (横浜市こころの健康相談センター)	
3. 自助グループや民間支援団体への支援のための課題抽出 -----	107
森田 展彰 (筑波大学・精神保健学)	
4. 治療効果判定ツールの再検査信頼性と結果フィードバックの効果研究 -	143
神村 栄一 (新潟大学・人文社会科学系)	
5. ギャンブル障害における精神科併存症の臨床的意義	
—CBTの効果検証研究において-----	145
宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学・精神科)	
6. 簡易介入の効果検討 -----	158
宋 龍平 (岡山県精神科医療センター・診療課)	
7. 治療プログラムおよび家族支援の研修会の実施-----	159
松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)	
8. ギャンブル障害の連携マニュアル作成—ニーズ調査とツール作成-----	168
佐久間寛之 (独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター)	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	218